

# オーストラリア金融政策（2020年12月）

## 市場予想通りの据え置き

2020年12月1日

### 足元の豪ドル高に対する懸念は示されず

12月1日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は市場予想通り現状の金融政策を据え置くと発表しました。先行きについては前回と同じく、「実際のインフレ率が目標の2～3%内で持続的に推移するまで利上げしない」、「RBAの経済見通しに基づけば、少なくとも今後3年は利上げしない予想」などと述べられています。

RBAは前回会合で追加緩和パッケージを発表したにもかかわらず、直近まで豪ドルは米ドルなどに対して上昇基調で推移してきたため、今会合の声明文では為替についての言及が注目されました。しかし、事実認識の記載にとどまり、豪ドル高を懸念する文言はありませんでした。その背景として、足元の豪ドル高はオーストラリアの相対的な景気回復期待の高さや資源価格の上昇などファンダメンタルズに沿った動きであるからだと考えられます。また、オーストラリアは経常黒字も定着しており、実需の資金フローも引き続き豪ドルの下支え要因として働いていると思われる。

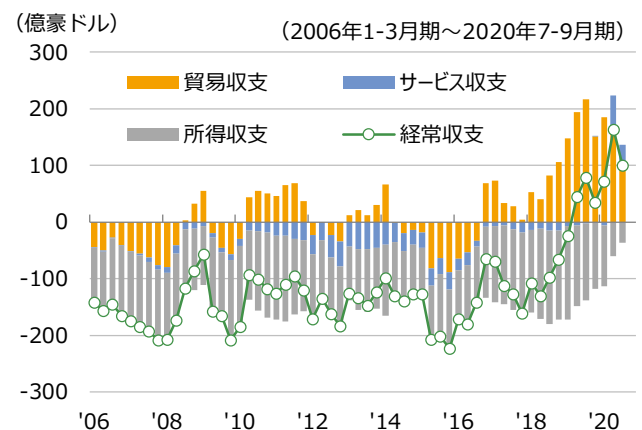
一方、豪ドル高がオーストラリアの景気回復を抑制する要因であることには変わりがないため、今後も豪ドルの上昇が続く場合にはRBAの金融政策スタンスに変化が生じるか否かを注視する必要はあると考えています。RBAは一貫してマイナス金利政策には否定的な見解を示しているため、追加緩和の手段としては、買い入れる国債の量を増やしたり更に長い年限の国債を買い入れたりとといった量的緩和の調整が挙げられます。

#### 豪ドルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

#### オーストラリアの経常収支



(出所) オーストラリア統計局

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。